

3次元CAD利用技術者試験 ガイダンス

平成23年度 (保存版通年使用)

<http://www.csaj.jp/cad/>



平成23年度
ガイダンス

CONTENTS

CSAJ/ACSPとCAD利用技術者試験について	2
3次元CAD利用技術者試験の概要	3
3次元CAD利用技術者試験会場申請チャート	7
3次元CAD利用技術者試験会場の申請	8
試験会場における試験実施責任者の役割と試験運営のながれ	11
各種規定	13
様式第1号 3次元CAD利用技術者試験会場認定申請書(新規)	15
様式第2号 3次元CAD利用技術者試験会場施設報告書	16
様式第3号 3次元CAD利用技術者試験会場に関する資料1(写真1/写真2)	17
様式第4号 3次元CAD利用技術者試験会場に関する資料2(案内図)	19
様式第5号 PC環境調査票	20
様式第6号 ガイドブック購入申込書	21
様式第7号 認定事項変更届	22
様式第8号 試験実施責任者変更届	23
CSAJプライバシー・ポリシー	24

CSAJ/ACSP と CAD 利用技術者試験について

■ 社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) について

社団法人コンピュータソフトウェア協会(以下、CSAJ)は、昭和 57 年 5 月、前身の「日本パソコンソフトウェア協会」として設立されました。昭和 61 年 2 月の社団法人化(通商産業省[現経済産業省]より認可を得る)を期に、名称を「社団法人日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会」とし、さらに平成 18 年には社団法人化 20 周年を記念して現在の名称へ変更し、今日に至っています(平成 23 年 1 月現在、総会員数約 460 社)。

CSAJ Web ページ <http://www.csaj.jp/>

■ 一般社団法人コンピュータ教育振興協会 (ACSP) について

一般社団法人コンピュータ教育振興協会(以下、ACSP)は、社団法人コンピュータソフトウェア協会(以下、CSAJ)を母体として平成 21 年 2 月に設立された非営利法人です。

ACSP では、「CAD 利用技術者試験」と「会計ソフト実務能力試験」の共催団体として、引き続き両試験の運営業務を行い、本事業を通じて学生および社会人の自己啓発意欲向上や就・転職等の支援活動を行ってまいります。

ACSP Web ページ <http://www.acsp.jp/>

■ CAD 利用技術者試験制度について

平成 22 年度に試験制度創設 20 周年を迎えた CAD 利用技術者試験は、平成 2 年 10 月に「CAD インストラクター認定試験」として創設し、平成 6 年 6 月より現在の「CAD 利用技術者試験」へ名称を変更して現在にいたっています。CAD 利用技術者試験は、現在までに延べ 50 万人以上の総受験者を得て、認定会場(CAD 利用技術者試験センターが正式に認定した大学・専門学校・スクールなど)の数も全国で 600 校以上(平成 23 年 1 月現在)にわたり、わが国有数の IT 関連試験として広く認知されています。

CAD 利用技術者試験は、以下の 3 種類の試験を通じて CAD を利用した知識・スキルを明確化し、一定水準に達している受験者に対して評価・認定を行うものです。

・CAD 利用技術者基礎試験

これから CAD を本格的に学ぶことを目的とした、3 ヶ月程度の就学者を想定して行います。

・CAD 利用技術者試験 1 級(建築)/1 級(機械)/1 級(トレース)・2 級

2 次元系の CAD システムを利用し、主として設計・製図業務に従事し、1 年以上の就学・就業経験(2 級および 1 級(トレース)は半年以上)を有する方を想定して行います。

・3 次元 CAD 利用技術者試験 1 級・準 1 級・2 級

機械系・製造系の 3 次元 CAD システムを利用し、主として設計・製図業務に従事し、半年以上の就学・就業経験を有する方を想定して行います。

CAD 利用技術者試験公式 Web ページ <http://www.csaj.jp/cad/>

CAD利用技術者試験1・2級・基礎試験における試験会場認定基準および募集概要は、本書(3次元CAD利用技術者試験ガイドス)に記載した各種規定や内容と異なりますのでご注意ください。

3次元CAD利用技術者試験の概要

実施団体

共催/社団法人コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人コンピュータ教育振興協会

試験名/資格

3次元CAD利用技術者試験1級
3次元CAD利用技術者試験準1級
3次元CAD利用技術者試験2級

※平成19年度以前の3次元CAD利用技術者試験合格者は、平成20年度以降「3次元CAD利用技術者1級」として認定が継続されます。

受験資格

準1級および1級は2級合格年の翌々年度まで受験が可能です。

2級は、制限はありません

※例えば、平成23年度の前期もしくは後期試験で2級に合格した場合、その合格を以て準1級もしくは1級受験が可能なのは平成25年の後期までになります。平成26年以降は、たとえ2級および準1級に合格していたとしても、2級から受験していただきます。

※準1級と1級を同日受験日に受験することはできません。

※平成19年度以前の3次元CAD利用技術者試験合格者は、平成20年度以降「3次元CAD利用技術者1級」として認定が継続されます。

受験区分

団体受験

個人受験

受験料

1級 15,000円(消費税込)

準1級 10,000円(消費税込)

2級 7,000円(消費税込)

1級・2級併願 20,000円(消費税込)

準1級・2級併願 15,000円(消費税込)

学生団体割引制度について

平成22年度、平成23年度の期間限定実施として、下記要領にて学生団体割引制度を実施します。

■期間:平成22年度、平成23年度の限定実施

■割引価格:学生団体受験=2割引、高校団体受験=4割引

●3次元CAD利用技術者試験 1級・準1級・2級

受験級/受験方法	一般受験	学生団体受験	高校団体受験
1級	15,000円	12,000円	9,000円
準1級	10,000円	8,000円	6,000円
2級	7,000円	5,600円	4,200円
1級/2級併願	20,000円	16,000円	12,000円
準1級/2級併願	15,000円	12,000円	9,000円

※上記金額はすべて税込

■割引対象:以下の学校およびCSAJが認めた教育機関

学生団体受験=高等専門学校、専門学校、短期大学、大学、大学院

※求職者・離職者を対象として、6ヵ月以上の学習・訓練期間を要する職業訓練校を含む。

高校団体受験=高等学校

■参加方法:事前の会場登録による団体受験

■受験申込方法:団体申込のみ

受験対象者

3次元CAD利用技術者試験1級

3次元CADシステム(製造・機械系)を利用して、モデリング・設計・製図などの業務に従事して半年以上の実務経験を有する方を想定して試験を行います。

3次元CAD利用技術者試験準1級

3次元CADシステム(製造・機械系)を利用したモデリング・設計・製図などの業務に従事することを旨とする者、もしくは従事して間もない方を想定して試験を行います。

3次元CAD利用技術者試験2級

CADシステム(製造・機械系)を利用したモデリング・設計・製図などの業務に従事する者、もしくは目指す者、および3次元CADシステムの周辺業務に従事している方を想定して試験を行います。

使用できる3次元CADソフト

CAD利用技術者試験センターでは、検証を行ったソフト(およびバージョン)を推奨CADソフトとしてCAD利用技術者試験公式Webページにて公開いたします。推奨CADソフトは1級・準1級試験に使用することが可能です。

それ以外のCADソフトおよびそれ以外のソフトのご利用を希望される場合は、公式Webページに公開されているモデルを作成し、計測された数値が指定誤差内に収まるかどうかを確認の上、各校にてご判断いただきます。

※使用ソフトにつきましてご不明な点がございましたら、CAD利用技術者試験センターまでお問合せください。

※使用ソフトについての情報は、CAD利用技術者試験公式Webページ(<http://www.csaj.jp/cad/>)で随時情報を更新していますので、ご確認ください。

実技試験について

体験版の3次元CADソフトは、個人受験者が持込受験をする場合のみ使用できます。団体受験者および試験会場に設置された3次元CADソフトを利用する個人受験者は、体験版を使用できません。

実技試験では、以下の2通りの受験方法から選択できます。

- 一般受験: 試験会場設置の3次元CADソフトを利用した受験です。
 - ①使用できる3次元CADソフトは、試験会場により異なります。また必ずしも希望する試験会場・ソフトで受験できない場合があります。
 - ②3次元CADシステムを変更する行為は一切禁止します。
 - ③ハードウェア等の環境については、受験者は選択することができません。
 - ④用意できるハードウェアの台数には、限りがあります。
 - ⑤ハードウェアが試験途中で停止する可能性もありますので、必ず試験途中で作図データをデスクトップにバックアップしてください。
- 持込受験: 試験会場へノート型パーソナルコンピュータ(以下:ノートPC)を持込み受験します。
 - ①持込会場を選択した場合は、試験会場にて電源を用意します。
 - ②試験会場に持込めるハードウェアは、ノートPCに限定します。
 - ③試験会場に持込める周辺機器は、マウス、トラックボール等のポインティングデバイス、マウスパッド、テンキーボード、ノートPC用ACアダプタ、ライセンス認証用通信カードとします。
 - ④持込むノートPCには、3次元CADソフトを事前にインストールして試験に臨んでいただきます。また使用する3次元CADソフトによってはネットワーク経由等の方法で、事前に認証が必要な場合があるほか、さらに体験版は

試験の科目と方法

期間制限等がある3次元CADソフトもあるので、その点を事前に確認の上、実技試験に臨んでください(個人受験者は会場のネットワーク環境は利用できません)。

- ⑤ノートPCの日付・時間は事前に合わせておいてください。
- ⑥マシントラブルは、如何なる理由があっても受験者本人の責任とし、再受験や受験料の返金はいたしません。
- ⑦体験版の3次元CADソフトは、個人受験者が持込受験をする場合のみ使用できます。団体受験者および試験会場設置の3次元CADソフトを使用する個人受験者は使用できません。

<p>1 級</p> <p>■CAD リテラシー問題 文章によるモデリング手順に従い、部品を作成する問題。第三者との口頭によるやり取りや手書き図面情報の伝達をイメージし、的確にコマンドを使用できるかを問う。</p> <p>■空間把握能力問題 投影図、展開図より、部品を作成する問題。空間形状が把握できているかを問う。</p> <p>■部品組立能力問題 部品を作成し、それらを組立てる問題。正しく部品を組み立てられるかを問う。</p> <p>■2次元図面からの作図能力問題 2次元図面より、機械部品を作成する問題。実務の基本的な能力を総合的に問う。</p>	<p>方法</p> <p>■出題方式 3次元CADシステムを利用したモデリング 提出：マークシート形式による多肢選択方式</p> <p>■試験時間：120分 ※60分経過後、解答用紙、試験問題、受験票を提出すれば退室が可能(ただし一度退室すると再入室はできない)</p>
<p>準1 級</p> <p>■CAD リテラシー問題 文章によるモデリング手順に従い、部品を作成する問題。第三者との口頭によるやり取りや手書き図面情報の伝達をイメージし、的確にコマンドを使用できるかを問う。</p> <p>■空間把握能力問題 投影図、展開図より、部品を作成する問題。空間形状が把握できているかを問う。</p> <p>■2次元図面からの作図能力問題 2次元図面より、機械部品を作成する問題。実務の基本的な能力を総合的に問う。</p>	<p>方法</p> <p>■出題方式 3次元CADシステムを利用したモデリング 提出：マークシート形式による多肢選択方式</p> <p>■試験時間：120分 ※60分経過後、解答用紙、試験問題、受験票を提出すれば退室が可能(ただし一度退室すると再入室はできない)</p>
<p>2 級</p> <p>■3次元CADの概念 3次元CADとは、3次元CADの必要性、3次元CADシステムの歴史、3次元モデルのデータ構造、3次元モデルの構成、表示技術</p> <p>■3次元CADの機能と実用的モデリング手法 3次元CADによる設計、モデリング機能、実用化の事例、複合化したコマンド、検査・計測・解析の方法、パラメトリックモデリング、アセンブリモデリング、実用上の注意点</p> <p>■3次元CADデータの管理と周辺知識 プロジェクト管理、PDM、コンピュータシステムの構成、データの記録媒体、CADとネットワーク知識、情報セキュリティ</p> <p>■3次元CADデータの活用 CAE、CAM、CAT、CG、RP、DMU、コラボレーション、応用例</p>	<p>方法</p> <p>■出題方法 多肢選択方式、真偽方式</p> <p>■試験時間：90分 ※60分経過後、解答用紙、試験問題を提出すれば退室が可能(ただし、一度退室すると再入室はできない)。</p>

合格基準

1級・準1級・2級ともに、各分野5割以上、および総合7割以上の正解を合格基準とする。

採点方法

1級・準1級・2級ともにマークシート形式による自動採点。

平成23年度スケジュール

	前期試験	後期試験
Web申込期間	4月5日(火)～5月24日(火)	8月30日(火)～10月18日(火)
受験票発送	6月下旬	11月下旬
試験日	7月17日(日)	12月11日(日)
2級試験	10:30～12:00(90分)	10:30～12:00(90分)
1級・準1級試験	13:30～15:30(120分)	13:30～15:30(120分)
可否発表	8月下旬	翌年1月下旬

※1級・準1級試験の注意事項

団体受験者の収容人数を超えた場合は、下記の試験時間で実施することができますので、事前にCAD利用技術者試験センターに連絡をしてください。また試験開始時間が複数となる場合、試験問題の内容が異なりますのでご注意ください。

1. 10:00～12:00(2級試験とは別の教室を用意できることを前提条件とする)
2. 13:30～15:30(原則この時間帯で1級・準1級を実施する)
3. 16:30～18:30

学習用参考書

平成23年度版

3次元CAD利用技術者試験公式ガイドブック

●判型: B5版 ●定価: 3,500円(消費税込み) ●刊行: 平成23年2月23日

平成23年度版

CAD利用技術者試験1級(建築)公式ガイドブック

●判型: B5版 ●定価: 3,500円(消費税込み) ●刊行: 平成23年2月23日

平成23年度版

CAD利用技術者試験1級(機械)公式ガイドブック

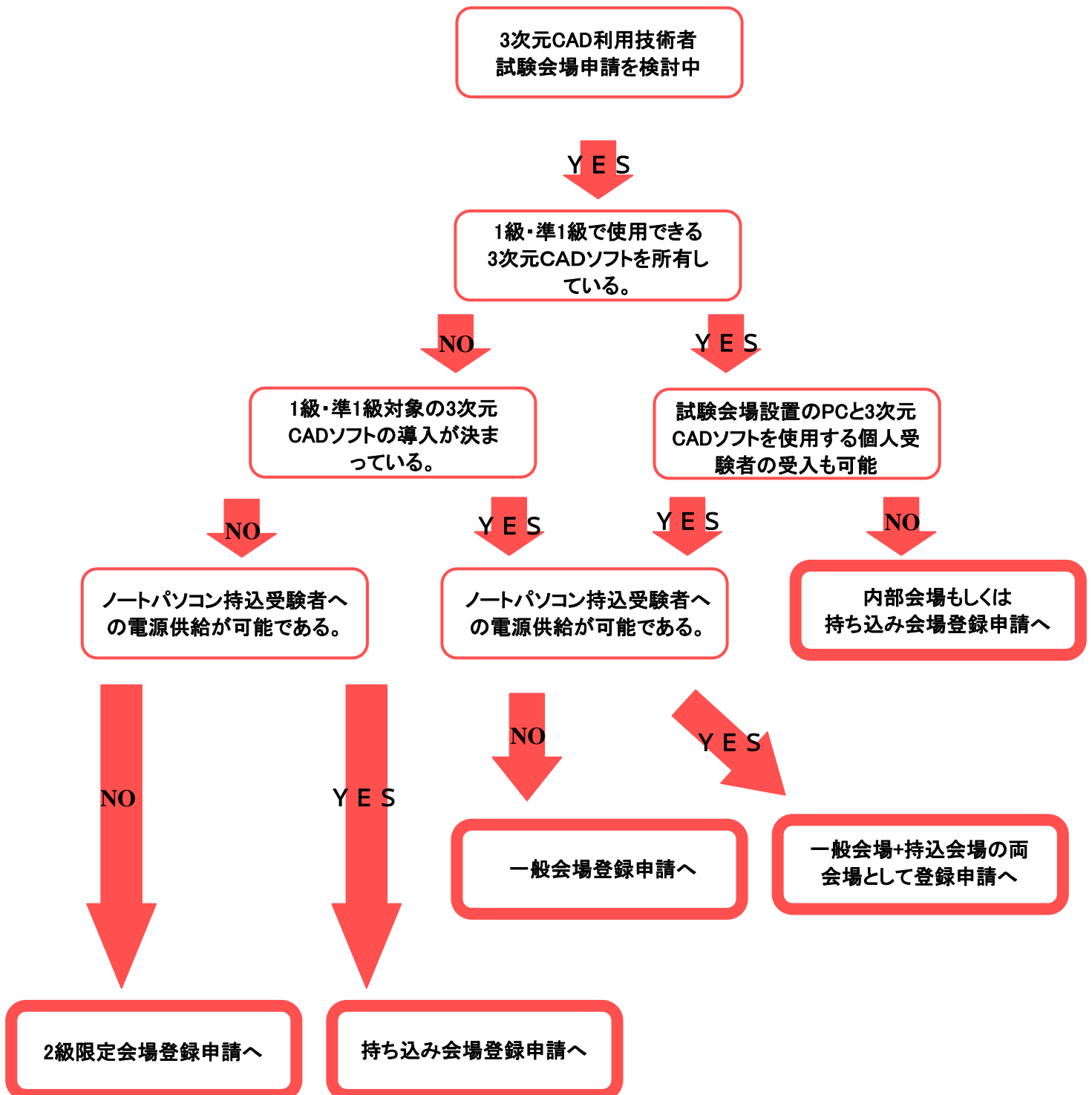
●判型: B5版 ●定価: 3,500円(消費税込み) ●刊行: 平成23年2月23日

平成23年度版

CAD利用技術者試験2級・基礎公式ガイドブック

●判型: B5版 ●定価: 3,500円(消費税込み) ●刊行: 平成23年2月23日

3次元CAD利用技術者試験会場申請チャート



3次元CAD利用技術者試験会場の申請

試験会場の新規申請

新規申請

新規に試験会場を申請する場合は、当ガイドンスに掲載する「3次元CAD試験会場認定基準」を参照し、必要な条件等について確認してください。

申請手続き

新規申請は、試験会場認定申請書(新規)(様式第1号)、試験会場施設報告書(様式第2号)、試験会場認定に関する資料1(写真1/写真2)(様式第3号)、試験会場認定に関する資料2(案内図)(様式第4号)、PC環境調査票(様式第5号:一般会場、内部会場、一般会場+持込会場の場合提出)事業所案内を提出してください。

試験会場区分

1. 一般会場(外部受験者受入が可能で会場の3次元CADソフトを利用して受験させることが可能な会場)

一般会場は、永続的に設置する試験会場で、本試験を実施する試験会場である。

- ① 筆記試験を実施するにあたり、一度に5名以上収容できる教室があること(複数教室を使用することは問わない)。
- ② CAD利用技術者試験センターが実技試験用として認定する3次元CADソフトがインストールされているパソコンを5台以上有すること。
- ③ 個人受験者を受け入れられること。

2. 内部会場(外部受験者受入が困難で自校生徒のみが受験可能な会場)

① 内部会場は、団体受験者(主に自校生徒)のみを対象とし、下記いずれかに該当する試験会場である。

1. 公的機関

- (1) 職業能力開発促進法に基づく訓練機関(職業訓練校)
- (2) 雇用・能力開発機構に属する機関(委託は除く)(職業能力開発促進センターなど)

2. 学校法人

- (1) 学校教育法第1条に定められた学校(高等学校、高等専門学校、短大、大学など)
- (2) 学校教育法第82条に定められた学校(専修学校)

3. 社団法人コンピュータソフトウェア協会の会員企業・団体・教育機関(準会員を除く)で外部の一般受験者を受け入れない試験会場。

② 年間に10名以上の受験者がいること。

3. 持込会場(3次元CADソフトはないが、ノートPCを持込む外部受験者に対して電源供給ができる会場)

持込会場は、個人受験者を主たる対象とし、下記の要件すべてに該当する試験会場である。

- ① 筆記試験を実施するにあたり一度に10名以上収容できる教室があること(複数教室を使用することは問わない)。
- ② ノートパソコンを持込むすべての個人受験者に対して、電源供給が可能であること。
- ③ 受入可能な受験者数と同等数のコンセント挿入口を有すること。ただし、延長コードを利用する場合については、安全上の理由からコンセント挿入口1口あたり3口までの延長コードのみ利用することができる(延長コード同士の接続は行わないこと)。また、延長コードは、試験会場が用意するものとする。
- ④ 3次元CADソフトの所有は問わない。
- ⑤ 個人受験者を受け入れられること。

4. 2級会場(2級のみ受験者受入が可能で、外部受験者を受入れる会場)

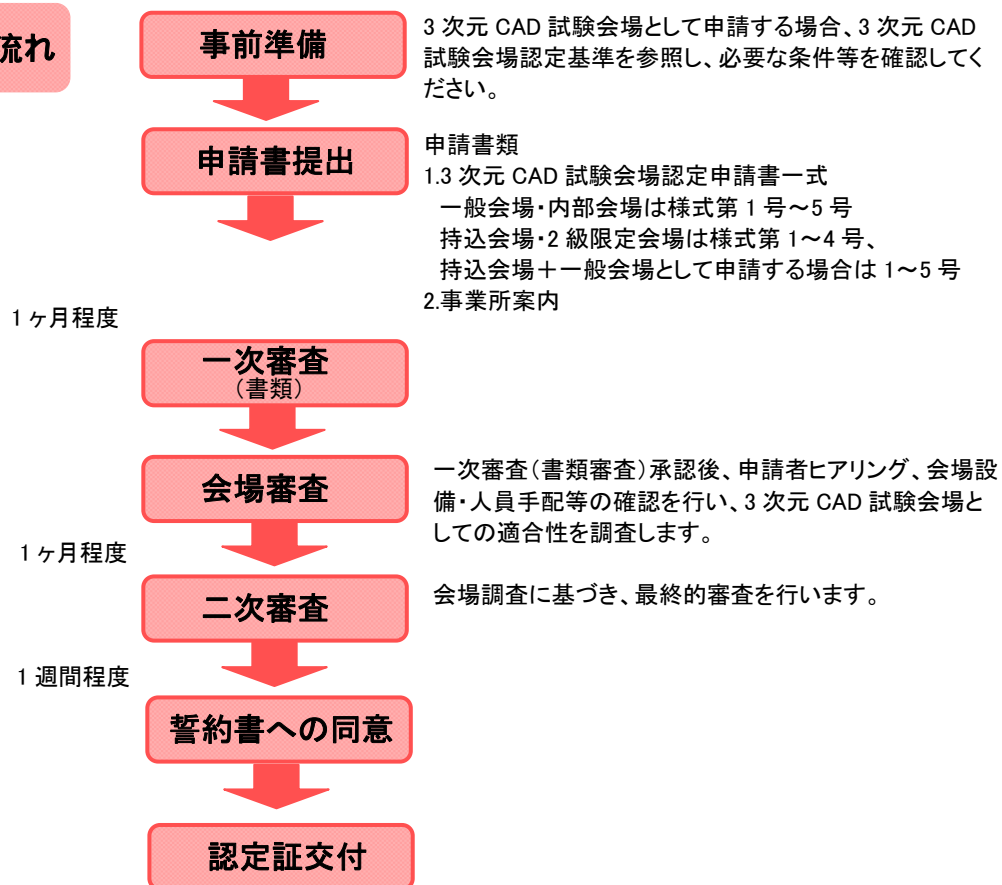
2級会場は、2級個人受験者を主たる対象とし、下記の要件すべてに該当する試験会場である。

- ① 2級試験を実施するにあたり、一度に10名以上収容できる教室があること(複数教室を使用することは問わない)。
- ② 個人受験者を受け入れられること。

5. 一般会場+持込会場(上記の一般会場と持込会場の定義に該当する会場)

一般会場+持込会場は、上記の「1.一般会場」「3.持込会場」の要件をすべて該当する試験会場である。

新規申請の流れ



試験会場の継続申請

申請手続き

年度更新時に、CAD利用技術者試験センターから送付される「3次元CAD試験会場施設確認書兼申請書(継続・廃止)」の内容をご確認いただき、提出してください。

試験会場の追加

既に3次元CAD試験会場として認定を受けている事業所において、新たに別事業所(分校、営業所等)を追加したい場合は、必要書類(様式第2号、3号、4号、5号)を試験センターまで提出してください。新規申請に準じた3次元CAD試験会場審査を行います。

変更の申請

試験会場移転にともなう住所変更等、申請内容に変更がある場合は、必要書類(様式第3号、4号、7号)を提出してください。また、試験実施責任者の変更がある場合は、3次元CAD試験実施責任者変更届(様式第8号)を提出してください。

試験会場特典

1. CAD利用技術者試験Webページ(<http://www.csaj.jp/cad/>)に3次元CAD試験会場名等を掲載します。
2. 宣伝活動における「3次元CAD利用技術者試験会場」等の呼称が使用できます。
3. 過去の試験問題を学校教材として使用することを許可します。
4. 公式ガイドブックを割引価格で販売します。
5. 各種資料のご案内、団体受験者に関する合否結果および合否一覧を提供します。
6. 団体受験者は自校、自社の慣れた環境で受験ができます。
7. CAD Conference等セミナーが、無料または割引で聴講できます。

試験会場における試験実施責任者の役割と試験運営のながれ

■試験会場における試験実施責任者の役割……

試験実施責任者は、実際の試験運営に際し、団体受験申込の告知や取りまとめ、受験申込資料、受験票、試験資料、合否通知等の取扱いに責任を持ち、試験当日に必ず試験に立会うことが要求されます。

また、試験実施責任者は、試験運営に際し取扱う個人情報については、CSAJプライバシー・ポリシー（P26参照）準じて、その取扱いに十分注意を払わなければなりません。

以下に、実際の試験運営を記述しますので、必ずお読みいただき、円滑な運営を行ってください。

■CAD利用技術者試験運営のながれ……

団体受験申込登録前

1 試験の告知

- 試験会場にポスター、チラシ等を送付しますので、それぞれ掲示、配布してください。
- 団体受験者に対して、試験の説明をしてください。

2 試験実施責任者へ団体受験申込方法の説明資料を配付

- 試験実施責任者へ、団体受験申込の方法を説明した資料を配布いたします。
- 団体受験者に対して、団体受験申込の方法を説明してください。

3 CAD 利用技術者試験公式 Web ページからの受験申込登録

- 試験会場を識別する団体コード、受験申込登録を行うURLを参照して受験申込登録を行ってください。
- 団体受験申込者には、登録ページの項目に全て入力していただきます。
- 試験実施責任者は、専用ページにて団体受験申込者の申込状況を確認してください。
※団体受験の場合には、団体受験者の合否結果が試験実施責任者へ通知されます。
申込の際には、各受験者より同意の上、申込登録を行ってください。同意いただけない場合は個人受験者として受験申込を行うようご案内ください。

4 団体受験料の振込

- 団体受験料の振込については、事前に選択された「団体一括振込」「個人振込」の方法に従って受験料の振込みをしてください。
 - 1) 団体一括振込
団体受験者の全ての入力データが確定したのち、CAD利用技術者試験センターより試験実施責任者宛てに請求書が送付されます。請求書に記載の受験料を指定の銀行口座に振込を行ってください。受験料の振込が指定の期日までに確認できない場合、受験できませんのでご注意ください。
 - 2) 個人振込
CAD利用技術者試験センターよりコンビニ専用の振込用紙を受験申込時の住所宛に送付しますので、記載された期日までに必ず振込を行うよう、団体受験者に説明してください。振込期日を過ぎますと受験できませんのでご注意ください。

受験申込登録後

1 確認【個人受験者を受け入れる本会場の場合】

- 試験実施責任者宛に「受験者割振り人数確認書」「会場地図確認書」を送付しますので、内容を確認の上、修正等がある場合は、CAD利用技術者試験センターへご連絡ください。

2 試験資材の確認と保管

- 試験資材を試験実施日の約1週間前に送付します。
- 「試験資材到着報告書」に基づいて、部数等を確認の上、署名・捺印し、CAD利用技術者試験センターへFAXにてご返信ください。
- 上記確認後、試験資材を試験日当日まで鍵付保管庫にて保管してください。
- CAD利用技術者試験センターでは、試験内容の漏洩防止のため、試験監査官を派遣し、試験会場の試験資材の保管状況を予告なしに確認する場合があります。

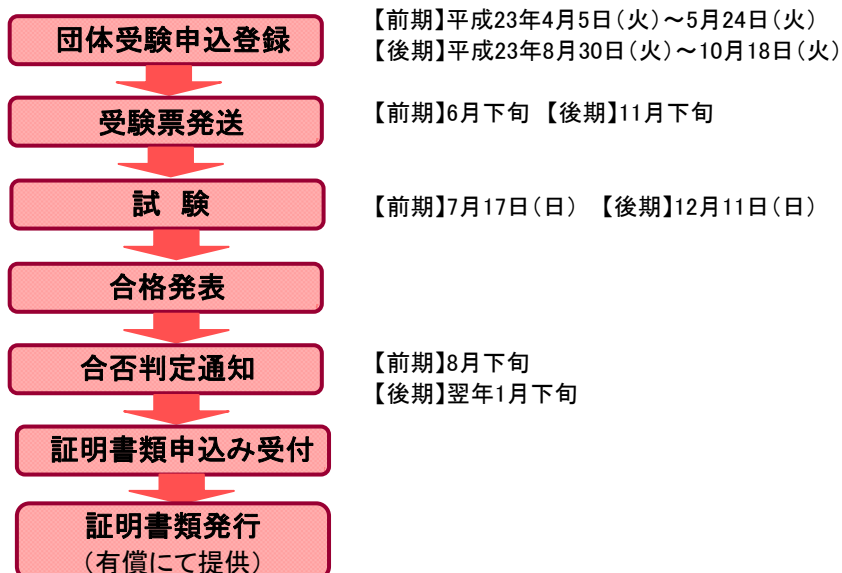
3 試験の実施

- 詳細については、試験資材に同封する「試験運営マニュアル」に基づき試験を実施してください。

4 合否結果の交付

- 団体受験者全員の合否一覧を試験実施責任者宛に送付します。
 - 合否判定通知書は、各受験者が申込時に登録した住所に送付します。
- ※団体受験者の個人情報の取り扱いについては、「CSAJプライバシー・ポリシー(P26)」をご参照ください。

5 全体のながれ



各種規定

3次元CAD試験会場認定基準

1条 事前準備

新規に3次元CAD試験会場を申請する場合は、協会が提供する資料を参照し、試験制度の目的、運営方針等をよく理解する。

2条 申請書

- 1) 申請書類
申請書は3次元CAD試験会場の認定の際に必要な書類であり、所定の申請書類を提出する。
- 2) 新規申請
新新規申請は、「3次元CAD試験会場(様式第1号)」「3次元CAD試験会場施設報告書(様式第2号)」「3次元CAD試験会場に関する資料1(写真1/写真2)(様式第3号)」「3次元CAD試験会場に関する資料2(案内図)(様式第4号)」「PC環境調査票(様式第5号:一般会場、内部会場、一般会場+持込会場の場合提出)」、事業所案内を提出する。
- 3) 継続申請
継続申請は、CAD利用技術者試験センターから送付された「3次元CAD試験会場施設確認書兼申請書(継続・廃止)」を定められた期間内に必ず提出する。
- 4) 変更申請
認定後、変更がある場合には、変更する内容について当該の様式第2号から様式第9号のうち必要なものを提出し(必ず会場コードを記入すること)、承認を得るものとする。ただし、試験会場施設(会場住所・筆記席数・実技試験用設備)の変更・廃止については、受験申込開始時期の2週間前には変更届を提出すること。受験申込開始時期から当該試験終了後までの変更・廃止については認めない。

随時変更可能	会場責任者、試験実施責任者、連絡先(TEL、FAX、E-mail)のほか、受験者および受験申込に直接影響の出ない項目。
受験申込開始1ヶ月前まで変更可能	上記に加え、会場種類(一般会場、持込会場等)、会場住所、試験使用教室、座席数、PC台数、3次元CADソフト(種類、バージョン)。判断が不明な場合は、必ずCAD利用技術者試験センターに連絡すること。

3条 審査

3次元CAD試験会場に認定されるためには、下記の条件をすべて満たしていなければならない。

- 1) 試験運営に関して、適正な要員を出せること。
- 2) 3次元CAD試験会場は適正な設備を備えていること。
- 3) 公共の交通機関を利用して、最寄り駅またはバス停より徒歩で行ける場所に所在すること。
- 4) 公的資格試験の3次元CAD試験会場としてふさわしいこと。

4条 運営業務規程

3次元CAD試験会場は、3次元CAD利用技術者試験の試験運営業務を円滑に行うこと、および個人情報保護の観点から、別途定める「CAD利用技術者試験運営業務規程」へ同意の上、誓約書を社団法人コンピュータソフトウェア協会へ提出する。この誓約書は、登記上の本社または本店が提出する。同じく試験会場として登録する支社・支店がある場合については、本社・本店が同等の責任を負うものとする。

5条 認定

3次元CAD試験会場の認定は、社団法人コンピュータソフトウェア協会が行う。認定に際し、別途定める「CAD利用技術者試験運営業務規程」への誓約により認定されたものとする。

6条 認定期間

当該実施年度(4月より翌年3月)の単年度認定とする。

7条 3次元CAD会場の条件・種類

- 1) 条件
 - ① 3人掛けの机の場合は、2人掛け以下として計算する。
 - ② 1人当たりの机の適正面積は、縦50cm以上×横80cm以上とする。
- 2) 一般会場
一般会場は、永続的に設置する試験会場で、本試験を実施する試験会場である。
 - ① 筆記試験を実施するにあたり一度に5名以上収容できる教室があること(複数教室を使用することは問わない)。
 - ② CAD利用技術者試験センターが実技試験用として認定する3次元CADソフトがインストールされているパソコンを5台以上有すること。
 - ③ 個人受験者を受け入れられること。
- 3) 内部会場
 - ① 内部会場は、団体受験者(主に自校生徒)のみを対象とした、下記いずれかに該当する試験会場である。
 1. 公的機関
 - (1) 職業能力開発促進法に基づく訓練機関(職業訓練校)
 - (2) 雇用・能力開発機構に属する機関(委託は除く)(職業能力開発促進センターなど)
 2. 学校法人
 - (1) 学校教育法第1条に定められた学校(高等学校、高等専門学校、短大、大学など)
 - (2) 学校教育法第82条に定められた学校(専修学校)
 3. 社団法人コンピュータソフトウェア協会の会員企業・団体・教育機関(準会員を除く)で外部の一般受験者を受け入れない試験会場。
 - ② 年間に10名以上の受験者がいること。
- 4) 持込会場
持込会場は、ノートパソコンを持込む個人受験者の受け入れを主たる対象とした、下記の要件すべてに該当する試験会場である。
 - ① 筆記試験を実施するにあたり、一度に10名以上収容できる教室があること(複数教室を使用することは構わない)。
 - ② ノートパソコンを持込むすべての個人受験者に対して、電源供給が可能であること。
 - ③ 受入可能な受験者数と同等数のコンセント挿入口を有すること。ただし、延長コードを利用する場合には、安全上の理由からコンセント挿入口1口あたり3口までの延長コードのみ利用することができる(延長コード同士の接続は行わないこと)。また、延長コードは、試験会場が用意するものとする。
 - ④ 3次元CADソフトの所有は問わない。
 - ⑤ 個人受験者を受け入れられること。
- 5) 2級会場
2級会場は、2級個人受験者を主たる対象とし、下記の

用件すべてに該当する試験会場である。

- ① 2級試験を実施するにあたり、1度に10名以上収容できる教室があること(複数教室を使用することは問わない)。
- ② 個人受験者を受け入れられること。

6) 一般会場+持込会場

一般会場+持込会場は、本会場の定義に加えて、ノートパソコンを持込む外部受験者に対して電源供給ができる会場である。

8条 同意事項

1) 賛同

社団法人コンピュータソフトウェア協会CAD利用技術者試験センターが示す3次元CAD試験運営方針に賛同できること。

2) CAD利用技術者試験運営業務規程の遵守

試験会場は、CAD利用技術者試験センターの定める「CAD利用技術者試験運営業務規程」を遵守すること。

3) 試験の周知徹底

試験の内容、実施スケジュール等を3次元CAD試験会場関係者および受験者へ周知徹底し、積極運営に努めること。

4) 事務処理

団体受験者の願書受付、発送、受験料の払い込み、事務連絡等を適正に行うこと。

5) 適正な試験運営

説明会等への参加、3次元CAD利用技術者試験運営マニュアル等を理解し、適正な試験運営に努めること。

6) 試験の公正化

本試験において知り得た内容については、一切外部に漏洩および利用しないこと。

7) 受験者の受け入れ努力

受験希望者が、申請書に記載した収容人数よりも多かった場合、3次元CAD試験会場として受け入れの努力をすること。

9条 経費の負担

本試験実施に伴う会場費、その他関係諸経費は、3次元CAD試験会場側で負担すること。

10条 運営協力費

内部会場を除き、下記の金額を本試験制度規程により運営協力費として交付する(金額はすべて消費税込み)。

会場種別	一般	内部	持込	一般・持込	2級会場
1級・準1級/1名	1500円	なし	1500円	2000円	-
2級/1名	500円	なし	500円	500円	500円

11条 団体奨励金

当該年度中(4月～翌3月)に、年間の団体受験者が50名以上以上に達した3次元CAD試験会場に対しては、下記の人数に応じた団体奨励金を交付する(金額はすべて消費税込み)。

50以上100名未満	20,000円(消費税込)
100名以上150名未満	50,000円(消費税込)
150名以上	90,000円(消費税込)

12条 運営協力費・団体奨励金の支払い

運営協力費・団体奨励金の支払いについては、CAD利

用技術者試験センターが試験終了後、3次元CAD試験会場に請求書を送付する。3次元CAD試験会場は必要事項を記入の上、CAD利用技術者試験センター宛に返送する。CAD利用技術者試験センターは、請求書到着月末締め、翌々月10日までに3次元CAD試験会場の指定する口座に対し請求金額を振り込むこととする。

ただし、3次元CAD試験会場側の都合により運営協力費・団体奨励金の交付が必要ない場合はこの限りではない。

13条 資料の提供

CAD利用技術者試験センターより必要に応じて試験に係わる資料の提出を求められた場合は、できる限り協力しなければならない。

14条 3次元CAD試験会場の取り消し

次の事項に該当する場合、認定期間中であっても、CAD利用技術者試験センターの判断で3次元CAD試験会場の認定を取り消すことがある。

- 1) 本試験の概念および推進に支障をきたすような行為をした場合。
- 2) 3次元CAD試験運営に関して、不正行為等により公正を欠くと判断された場合。
- 3) CAD利用技術者試験センターへの必要な報告義務を怠った場合。
- 4) 申請書の内容に事実と異なる記載をした場合。
- 5) 試験に伴う施設の用意ができず、試験の実施ができない場合。
- 6) CAD利用技術者試験センターの決定事項に従えない場合。
- 7) その他、試験会場側の行為に対して、CAD利用技術者試験センターが取り消しに値する行為と判断した場合。

※認定を取り消した場合、受験者保護のため、その対象団体受験者の受験地変更をCAD利用技術者試験センターが行う。なお、それに関わる費用は、当該会場が支払うものとする。また、3次元CAD試験会場側の都合により、試験運営に支障をきたし、別途費用が発生した場合、当該会場がその費用を負担するものとする。

15条 付記

3次元CAD試験会場認定基準に記載されていない事項およびその他変更等を生じる事項については、CAD利用技術者試験センターと当該会場が、その都度協議の上、CAD利用技術者試験センターが決定するものとする。

様式雛形(様式第1号)

様式第1号

3次元CAD試験会場認定申請書(新規)

CAD利用技術者試験の試験会場として認定を受けたいので申請します。

平成 年 月 日

申請者 事業所名

代表者名

所在地

TEL

FAX

印

社団法人コンピュータソフトウェア協会
CAD利用技術者試験センター 殿

[事業の概要]

(1)事業の種類	
(2)事業の内容	
(3)設立年月日	
(4)資本金の額	
(5)常用従業員数	
(6)3次元CAD教育者数	名

- 試験会場申請・ガイドブック購入申込等は、以下の事項に同意の上、お申込ください。同意いただけない場合は、試験会場申請登録、情報提供等ができませんので、予めご了承ください。
- 記入いただいた個人情報、試験センターが実施するセミナーや書籍発刊等のご案内、アンケートの実施等で利用させていただく場合があります。
- 試験実施に関する業務の一部を外部に委託する場合があります。個人情報の取り扱いについては、委託先と機密保持契約等を締結し、外部への漏洩、再提供の防止など不適切な取り扱いがないよう適切に管理いたします。
- 提供いただいた個人情報の開示、訂正、削除を希望される場合は、本人であることを確認させていただいた上で、速やかに対応させていただきます。
本件に関するお問い合わせは、巻末に記載されている試験センター連絡先:03-5157-0786)まで連絡ください。

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第2号)

会場コード

様式第2号

(新規申請の場合は、会場コードの記入は必要ありません)

3次元CAD試験会場施設報告書

平成 年 月 日

社団法人コンピュータソフトウェア協会
CAD利用技術者試験センター 殿

(1)法人格名	フリガナ			
(2)会場名	フリガナ			
(3)会場所在地	フリガナ 〒			
(4)試験実施責任者連絡先TEL		(5)試験実施責任者FAX		
(6)資産状況	1. 自社物件 2. 賃貸物件			
(7)webページ	http:// ※CAD利用技術者試験webページに試験会場ホームページをリンクします。 ⇒ 掲載不可 掲載不可の場合は、○をつけてください。			
(8)会場責任者 ※下記(9)試験実施責任者の管理者にあたる方を会場責任者として登録してください。	フリガナ			
	名 前		印	
	部 署 名			
(9)試験実施責任者 ※試験実施責任者「緊急連絡先TEL」は、試験実施に伴う緊急連絡先(試験当日緊急のご連絡など)として使用させていただきます。 →	フリガナ			
	名 前		印	
	部 署 名			
	E-mail			
	生年月日	西暦	19 年 月 日	
	緊急連絡先TEL			
(10)試験会場区分	1. 一般会場 2. 持込会場 3. 一般+持込 4. 内部会場 5. 2級会場			
(11)団体受験料払込方法※	1. 一括(請求書) 2. 個別(コンビニ専用)			
(12)受験対策講座	1. あり 2. なし			
(13)その他	2級試験可能席数(1.2.3.4.5)		席	
	供給可能な電源口数(3.4)		口	
	車イス受験者の受入(1.2.3.4のみ)	1. 可 2. 不可		
	1級・準1級試験の複数回実施(1.3.4のみ)	1. 可 2. 不可		
	上記の複数回実施「可」の場合の試験実施可能時間帯(該当箇所)に☑			
	<input type="checkbox"/> 10:00～12:00	(2級実施会場とは別の教室が用意できることが前提条件)		
<input type="checkbox"/> 13:30～15:30				
<input type="checkbox"/> 16:30～18:30				

- 1 一般会場: 外部受験者受入が可能で会場の3次元CADソフトを利用して受験させる事が可能な会場。
 2 持込会場: 3次元CADソフトはないが、ノートパソコンを持込む外部受験者に対して電源供給ができる会場。
 3 一般会場+持込会場: 一般会場の定義に加えて、ノートパソコンを持込む外部受験者に対して電源供給ができる会場。
 4 内部会場: 外部受験者受入が困難で、自校生徒のみが受験可能な会場。
 5 2級限定会場: 2級のみ受験者受入が可能で、外部受験者を受入れる会場。
 ※ 車イス受験者の受入とは、個人受験者の車イス利用者を受入れる施設を指し、教室、トイレ、駐車場、エレベーターなどの設備を備えている。
 ※ (11)一括とは試験実施責任者宛に請求書を送付。個別とはコンビニ専用の振込用紙を受験申込時の住所宛に送付。

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第3号)

様式第3号

会場コード

(新規申請の場合は、会場コードの記入は必要ありません)

試験会場認定に関する資料1(写真1)

会場名

(1)会場の外観

ここに写真を貼付してください

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第3号)

様式第3号

会場コード

(新規申請の場合は、会場コードの記入は必要ありません)

3次元CAD試験会場認定に関する資料1(写真2)

会場名

(2)2級試験に使用する教室

ここに写真を貼付してください

※教室を複数用意する場合は、必要枚数(教室1枚)を貼付のこと。

(3)1級・準1級試験に使用する教室

ここに写真を貼付してください

※教室を複数用意する場合は、必要枚数(教室1枚)を貼付のこと。

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第4号)

様式第4号

会場コード

(新規申請の場合は、会場コードの記入は必要ありません)

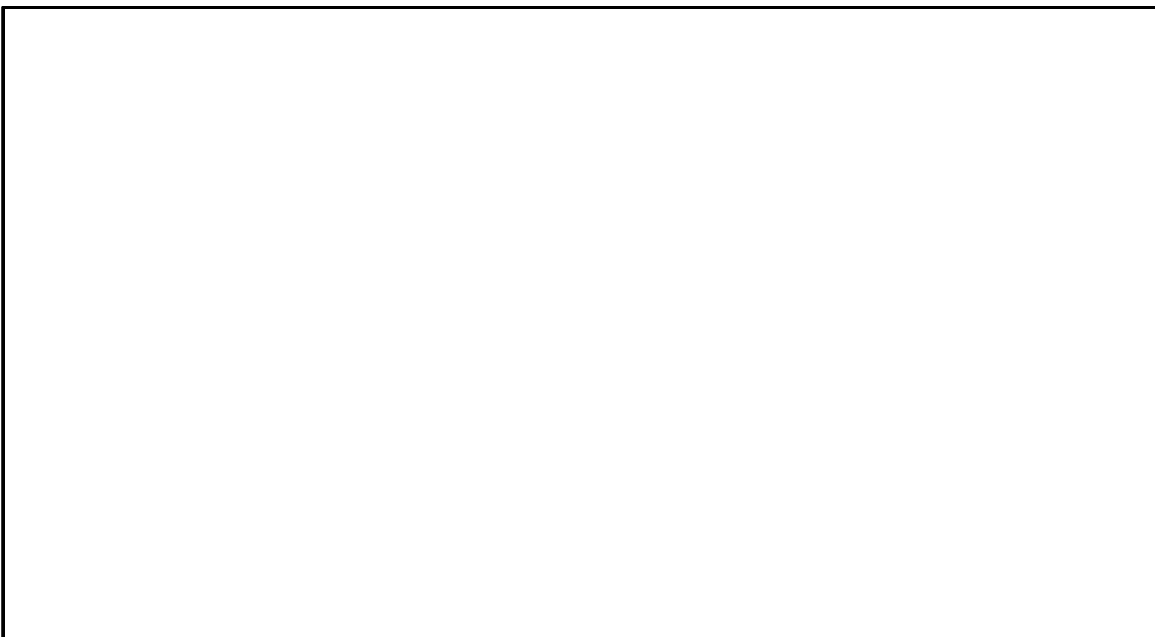
3次元CAD試験会場認定に関する資料2(案内図)

会場名

所在地

交通

【地図】



※会場棟・館の区別がある場合は、試験会場となる場所が分かるように記入すること。

試験会場における注意事項として記載する条件に○をつけてください(必ず記入してください)。

- 自動車での来場を禁止します。 自動車・バイクでの来場を禁止します。
- 自動車・バイクは所定の場所に入れてください。試験会場には駐車場がありますが、自動車・バイクで来場した場合、道路の混雑・事故などの状況による遅刻は一切認めません。
- 試験会場および手洗所以外の場所には立ち入りを禁止します。
- 試験会場内は禁煙になります。 喫煙は所定の場所で行ってください。 ゴミなどは持ち帰ってください。
- たばこの吸殻、ゴミなどは所定の場所に捨ててください。
- 会場内は土足厳禁です。スリッパ等上履きを用意してください。
- 会場案内は、_____に掲示します。
- その他(貴会場にて特に注意を促す条件がございましたらご記入ください)

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第5号)

様式第5号

会場コード

(新規申請の場合は、会場コードの記入は必要ありません)

PC環境調査票

平成 年 月 日

社団法人コンピュータソフトウェア協会
CAD利用技術者試験センター 殿

会場名				
(1)PC総台数				
(2)3次元CADインストール済PC台数				
(3)3次元CADソフト ※ バージョン、台数を必ず記入すること。使用できるソフトかどうかについては、P4の「使用できる3次元CADソフト」の項を参照し、判断すること。 ※ 学生版・教育版などを使用している場合は、必ずその旨明記してください。	3次元CADソフト名	記入例: CATIA		
	バージョン(詳細)	記入例: V5 R17	台数	記入例: 20 台
	3次元CADソフト名			
	バージョン(詳細)		台数	台
	3次元CADソフト名			
	バージョン(詳細)		台数	台
	3次元CADソフト名			
	バージョン(詳細)		台数	台
(4)OS(オペレーティングシステム)	1. Windows 2000 2. Windows Me 3. Windows XP 4. Windows NT4.0 5. Windows Vista 6. その他()			

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第6号)

FAX:03-3560-8436

様式第6号

ガイドブック購入申込書

平成 年度CAD利用技術者試験公式ガイドブックを割引価格にて購入したく申込みいたします。

平成 年 月 日

社団法人コンピュータソフトウェア協会
CAD利用技術者試験センター 殿

会場名		会場コード					
送付先住所	〒						
担当者							印
部署							
TEL							
FAX							

3次元ガイドブック	3,500円×80%=2,800円(消費税込み)	×	冊	円
1級ガイドブック(建築)	3,500円×80%=2,800円(消費税込み)	×	冊	円
1級ガイドブック(機械)	3,500円×80%=2,800円(消費税込み)	×	冊	円
2級・基礎ガイドブック	3,500円×80%=2,800円(消費税込み)	×	冊	円
送 料				円
合計金額(消費税込み)				円

※送料 1冊:400円 2~5冊:800円 6~10冊:1,100円 11冊以上:1,500円

※配送には、一週間くらいかかる場合もあります。 ※価格はすべて消費税込みとなります。

- 試験会場申請・ガイドブック購入申込等は、以下の事項に同意の上、お申込ください。同意いただけない場合は、試験会場申請登録、情報提供等ができませんので、予めご了承ください。
 - 記入いただいた個人情報、試験センターが実施するセミナーや書籍発行等のご案内、アンケートの実施等で利用させていただく場合があります。
 - 試験実施に関する業務の一部を外部に委託する場合があります。個人情報取り扱いについては、委託先と機密保持契約等を締結し、外部への漏洩、再提供の防止など適切な取扱いがないよう適切に管理いたします。
 - 提供いただいた個人情報の開示、訂正、削除を希望される場合は、本人であることを確認させていただいた上で、速やかに対応させていただきます。
- 本件に関するお問い合わせは、巻末に記載されている試験センターまでご連絡ください。

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

様式雛形(様式第7号)

FAX:03-3560-8436

会場コード

様式第7号

(新規申請の場合は、会場コードの記入は必要ありません)

認定事項変更届

平成 年度CAD利用技術者試験の試験会場認定申請書および試験会場施設報告書の内容に変更が生じたので届け出ます。

平成 年 月 日

申請者 会場名

試験実施責任者

TEL

印

社団法人コンピュータソフトウェア協会
CAD利用技術者試験センター 殿

— 記 —

変更事項	1. 会場名 2.所在地 3.TEL 4.FAX 5.会場責任者 6.会場責任者部署 7.その他() ※試験実施責任者に関して変更が生じた場合は、「試験実施責任者変更届(様式第9号)」にて届け出て下さい。
変更予定日	年 月 日 より
変更内容	

- 試験会場申請・ガイドブック購入申込等は、以下の事項に同意の上、お申込ください。同意いただけない場合は、試験会場申請登録、情報提供等できませんので、予めご了承ください。
 - 記入いただいた個人情報、試験センターが実施するセミナーや書籍発行等のご案内、アンケートの実施等と利用させていただく場合があります。
 - 試験実施に関する業務の一部を外部に委託する場合があります。個人情報の取り扱いについては、委託先と機密保持契約等を締結し、外部への漏洩、再提供の防止など不適切な取り扱いがないよう適切に管理いたします。
 - 提供いただいた個人情報の開示、訂正、削除を希望される場合は、本人であることを確認させていただいた上で、速やかに対応させていただきます。
- 本件に関するお問い合わせは、巻末に記載されている試験センターまで連絡ください。

様式はA4版で作成してください。提出先はすべてCAD利用技術者試験センターです。※コピーしてご利用ください。

CSAJプライバシー・ポリシー

当協会の個人情報保護方針について

社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)は、コンピュータ・ソフトウェア産業の健全な発展に貢献していく上で、政策提言、ベンチャー支援、マーケティングサポート(市場動向調査、広報研究)、ビジネスアライアンス、知的財産保護、税制改正要望、人材育成、国際交流など、さまざまな活動を行っています。当協会は、これらの活動を行う上で取り扱う個人情報の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守するために、次の通り個人情報保護方針を定め、これを推進して参ります。

1. 個人情報を含む多種多様な情報を取り扱う協会活動を考慮した適切な個人情報の取得、利用、提供及び管理のルールを、個人情報保護マネジメントシステムとして制定し、これを文書化するとともに、実践し、維持し、かつ、継続的に改善いたします。
2. 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん、及び漏えいなどを防止するため、適切な情報セキュリティ対策を講じます。
3. 個人情報の取り扱い、国が定める法令及びその他の規範について遵守します。
4. 会員等に対し、個人情報保護の重要性について継続的に啓発・推進いたします。
5. 苦情相談に対応する体制を整備し、苦情相談窓口を設置します。
6. 個人情報をご提供いただく場合は、あらかじめ個人情報の利用目的を明示し、同意を頂いた上で適正に取得いたします。取得した個人情報は取得時に明示した利用目的の範囲内で使用し、利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いをいたしません。また、そのための措置を講じます。

制定 2002年(平成14年)5月1日

最終改定日 2007年(平成19年)7月1日

社団法人コンピュータソフトウェア協会

会長 和田 成史

当協会の個人情報に関するお問い合わせ先
社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 相談窓口
TEL:03-3560-8440 FAX:03-3560-8441
認定試験事業の個人情報に関するお問い合わせ先
社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)
TEL:03-3560-8440

公表事項

社団法人コンピュータソフトウェア協会(以下、「協会」という。)では、「個人情報保護方針」及び関連各規程を定め、個人情報の取扱いを厳重に行っています。

1. 取得する個人情報とその利用目的

協会が取得する個人情報とその利用目的は以下のとおりです。

1. 協会会員企業の役員・担当者・委員会等の参加者の情報
利用目的:協会運営や委員会等の活動に関連する連絡、送付及び協会が発行する書籍・報告書やセミナー等の案内のため。
2. 協会が主催する各種イベントの講演者・参加者及び利用者等の情報
利用目的:各種イベントの運用に関連する連絡、請求、送付及び協会が発行する書籍・報告書やセミナー等の案内のため。
3. 協会が発行する書籍・報告書の購入者の情報
利用目的:ご購入いただいた書籍・報告書の送付、請求、入金確認、連絡、購入いただいたもの以外の協会が発行する書籍・報告書やセミナー等の案内のため。
4. 認定試験の受験者・申込者の情報
利用目的:認定試験の運営に関連する連絡、送付及びセミナーその他試験等の案内のため。
5. 認定試験会場の会場責任者・試験実施責任者の情報
利用目的:認定試験の運営に関連する連絡、送付のため。
6. 協会内の各種活動における取引先担当者等の情報
利用目的:協会の各種活動の運営に関連する連絡、送付及び協会が発行する書籍・報告書やセミナー等の案内のため。
7. 協会活動に対するお問い合わせをいただいた方の個人情報
利用目的:お問い合わせに対する回答、連絡、送付のため。
8. 協会の役員・従業員の情報
利用目的:協会運営に関連する連絡、送付、給与・賞与及び諸費用の支払い、管理のため。
※平成15年3月以前(協会の個人情報保護規程運用以前)の個人情報につきましては、上記①～⑧の内容を保有し、適切に管理しております。

2. 個人情報の取扱い及び管理

協会は、登録された個人情報についての安全性確保に必要な管理を

行うとともに、管理

状況を定期的に確認し、必要な場合、改善等の対応を行います。

3. 個人情報の開示/訂正/利用停止/削除

協会では、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示対象個人情報の開示/訂正/利用及び提供の停止/削除等(以下、「開示等」という。)を希望される場合、本人確認の上、遅滞なく開示等を行います。尚、開示等のご依頼に当たって、以下を公開いたします。

a. 基本事項

○協会の名称:社団法人コンピュータソフトウェア協会

○個人情報保護管理者の職名:事務局長

○所属:事務局

○連絡先:03-3560-8440

b. 開示等及び個人情報の取扱いに関する苦情・問い合わせの申出先

○一般:プライバシーマーク審査室 03-3560-8444

○委員会/セミナー:業務課 03-3560-8440

○試験:03-3560-8440(ウェブ上に様式有)

○採用:業務課 03-3560-8440

c. 開示対象個人情報の開示及びその利用目的の通知を行うためには料金が発生します。料金の額とその手続の方法は、以下のとおりです。

1. 開示対象個人情報の開示及びその利用目的の通知の求めに際しては、「個人情報開示申請書」のご記入とご提出をお願いしています。Webページからダウンロードしてご利用ください。
2. 開示対象個人情報の開示及びその利用目的の通知の求めをする方が、本人あるいは代理人であることを確認させていただきます。免許証(本籍地は塗りつぶしてください)、健康保険証、住民票、パスポート、いずれかの写しを添付してください。代理人の場合は、本人からの委任状をご提出ください。
3. 料金は、ご依頼いただいたご本人に負担が掛からないように実費(700円+ご指定の配送料金)にて請求させていただきます。配送方法のご指定が無い場合、配送は、本人限定受取郵便(25gまで600円)とさせていただきます。
4. 本項の定めは、協会会員様による自社登録内容の確認、及び協会が運営する試験の受験者本人による登録内容確認には適用されません。協会会員様は協会担当者、受験者は事業課担当者へお問い合わせください。

4. Cookieの利用について

協会は、Cookieを、当Webサイトを利用される皆様の状況を把握し、より満足度の高いサイトを作るために利用する場合があります。しかしながら、協会ではCookieと協会が所有する個人情報を関連付けて取り扱うことはありません。協会Webサイト閲覧の際Cookieを受け付けないように設定することは自由ですが、サイト間の移動の際等に不具合を生じる場合があります。

5. SSLによる安全性の確保について

協会Webサイトは、個人情報の登録の際に、SSL等により安全性確保に必要なとなる手段を講じます。

6. 業務委託

協会Webサイトは、データ処理、サーバ等の機器管理等を第三者に委託する場合があります。この場合、機密保持契約の締結等により、委託先が個人情報の適切な取扱いを行うように管理します。





CAD利用技術者試験センター

〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館1号館5階

TEL:03-3560-8437(直通) FAX:03-3560-8436